

地域協働学校だより No.5

令和元年 11 月 8 日
新宿区立市谷小学校
地域協働学校運営協議会

「地域協働学校運営協議会」からのご報告です。10 月 29 日に吉住新宿区長と市谷小 6 年生児童が意見を交換する「小・中学生フォーラム」が本校で行われましたので、内容をご紹介します。また、児童の安全のために活躍する地域の方々と PTA の活動についてもお知らせします。

＜新宿区長と意見交換：小・中学生フォーラム＞

明日をつくる市谷っ子 より良い地域であるために 10 年 20 年後の未来を見据えて

新宿区では、毎年「小・中学生フォーラム」を実施しています。このフォーラムは、一定のテーマに沿って、小・中学生と区長が意見を交換するものです。毎年 3、4 校の小中学校で行われます。子どもたちが自分たちのまちや新宿区に関心と愛着をもつ大人として成長する礎となるような機会を提供するとともに、子どもの意見を区の施策の参考にすることを目的としています。

今年は吉住区長が市谷小を訪問され、市谷小学校の 6 年生児童全員が 8 つのグループに分かれてそれぞれ関心のあるテーマについて現状と提案をプレゼンテーションしました。吉住区長に直接質問をして一つ一つ丁寧に答えていただくこともできました。



テーマとプレゼンテーション

児童たちの発表テーマは多岐にわたりました。「自然を守るために（草木とゴミ問題）」「安全（路面駐車と防災）」「バリアフリー」「ボランティア」「マイノリティ社会に向けた町づくり」「大切にしたいモラル」「防犯と電灯」「新宿区の公園」「清潔な町づくり」など。

テーマ自体はもちろんのこと、スライドや模造紙でまとめたり、劇形式で発表したりと発表の仕方も様々な工夫がされ、それぞれが具体的な提案で締めくくられた立派なプレゼン

テーションでした。フォーラムの最後には、児童たちの提案に対して区長から感想や現在行っている対策についてコメントをいただきました。

新宿区としてのとりくみ

発表の後は区長との質疑応答・意見交換でした。「なぜ区長になろうと思ったか」「区長をやってよかったこと、大変なこと」「2020 オリパラへの取り組み」「一番大切にしている取り組みは」「最近苦労したことは」など、児童たちからたくさんの質問が寄せられました。吉住区長からは、ふるさと新宿に恩返しをしたいと考えて区長を目指したこと、新宿区民 34 万人と昼間人口 75 万人の安全のための災害対策・防犯対策に様々な方法で取り組んでいること、どうやったら区民に必要な情報を伝えられるかというコミュニケーションの方法に苦心していることなどを話していただきました。市谷小体育館のろくぼくの隣にあるロッククライミング体験の板も、新宿区として 2020 年のオリンピック・パラリンピックのために区民の意識を高める取り組みの一環だそうです。区長と直接意見交換できる貴重な機会でした。





情報収集してまとめたことを提案まで含めて様々な方法で発表した児童たちのプレゼンテーションがとても見事で興味深く、感心しました。司会や次のグループの準備の間の態度も立派でした。また吉住区長は、児童からの質問に真摯に答え、提案にも一つ一つコメントを返してくださいました。児童たちは新宿区の政治に興味を持ち、区民一人一人と区政がつながっていると感じる素晴らしい機会になったのではないかと思います。

地域の協力で児童に安全を

10月下旬に学校付近で発生した傷害事件を受けて集団下校が行われた際は、先生方と保護者の方に加えて地域の方々にもご協力いただきました。日頃から市谷小児童の安全を気遣ってくださる皆様に心から感謝いたします。

学校の周りには、車道と区別して歩道が整備されていない道もあり、安全には常に気を付ける必要があります。今後とも保護者・地域の皆様のご協力をお願い致します。

